

復活の主日

2021.4.4

ヨハネ 20・1-9

カトリック高円寺教会 11:00 ミサ
主任司祭 吉池好高神父

聖書に語られているイエス様の復活の場面、イエス様のお姿を見た弟子たちには、それがイエス様だというふうには初めは分からなかったというふうには語られています。今日のヨハネの福音のマグダラのマリアもそうでした。

彼女は、そこに立って声を掛けてくれたその人は園の番人だとばかり思っていたのでした。そのようなマグダラのマリアに、復活された主は彼女の名を呼んでくださったのです。その時、今まで遮られていた彼女の肉の眼は開かれ、イエス様がそこに、あの時と同じように慈しみ深く自分に名前を呼んでくださっておられることを知って、イエス様の復活の最初の証人となりました。ペトロともう一人の弟子のところに行って最初に告げたこととは違って、「イエス様は本当に復活された。わたしはそのイエス様とお会いすることができた」、そのように語ったに違いありません。このようにして、イエス様を信じ、イエス様の復活を喜ぶ、最初の教会のイエス様を信じる信仰は広まっていくことになりました。

墓の中からマリアに呼び掛けた天使は、「あの方はここにはおられない、イエス様はもう墓の中にはおられなくて、あなたがたと弟子たち全ての者に先立ってガリラヤに行って、そこであなたたちを待っている」、そのように告げました。ガリラヤはイエス様と弟子たちの最初の出会いの場面です。イエス様に声を掛けられ、イエス様のそのお声に従って、今までの全てを捨ててイエス様に付き従う。イエス様の弟子としての生活が始まったのでした。

わたしたちも、イエス様の復活をこの身に本当に受け止めるために、わたしたちの最初のイエス様との出会い、神様との出会いを振り返ってみたら良いかもしれません。イエス様に呼ばれて教会を訪れて、そして教会の集いの中で、その兄弟同士の出会いの中で、わたしたちも心の眼が開かれて、「この人たちが信じる、教会が伝えてきたイエス様を信じたい。信じられないことがたくさんあるけれども、このお方は確かだ。このお方がその全生涯を通して、神の子としてのそのお力を通して示しておられることが真実なのだ」、そのように不思議なことにわたしたちの心が開かれて、イエス・キリスト様を信じるカトリック

の信者としていただきました。

ガリラヤに帰って、わたしたちの初めの信仰に戻って、もう一度わたしたちが信じているこの信仰をわたしたちの中に、神様が、復活されたイエス様が蘇らせてくださるように、このミサを通して改めてお願いしたいと思います。